



I 第 43 週の発生動向 (2025/10/20~2025/10/26)

- インフルエンザについては、県全体の定点当たりの報告数が増加していますので、「手洗い・手指消毒」、「咳エチケット」、「室内の換気」等の基本的な感染対策の徹底をお願いします。
- 新型コロナウイルス感染症については、県全体の定点当たりの報告数が増加していますので、引き続き、「手洗い・手指消毒」、「咳エチケット」、「室内の換気」等の基本的な感染対策の徹底をお願いします。
- 百日咳については、複数の保健所管内で患者が報告されています。手洗い等の基本的な感染対策の徹底をお願いします。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

<感染症の窓>

今週のテーマは「薬剤耐性 (AMR) 対策について」です。最終ページに掲載しています。

II 第 43 週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

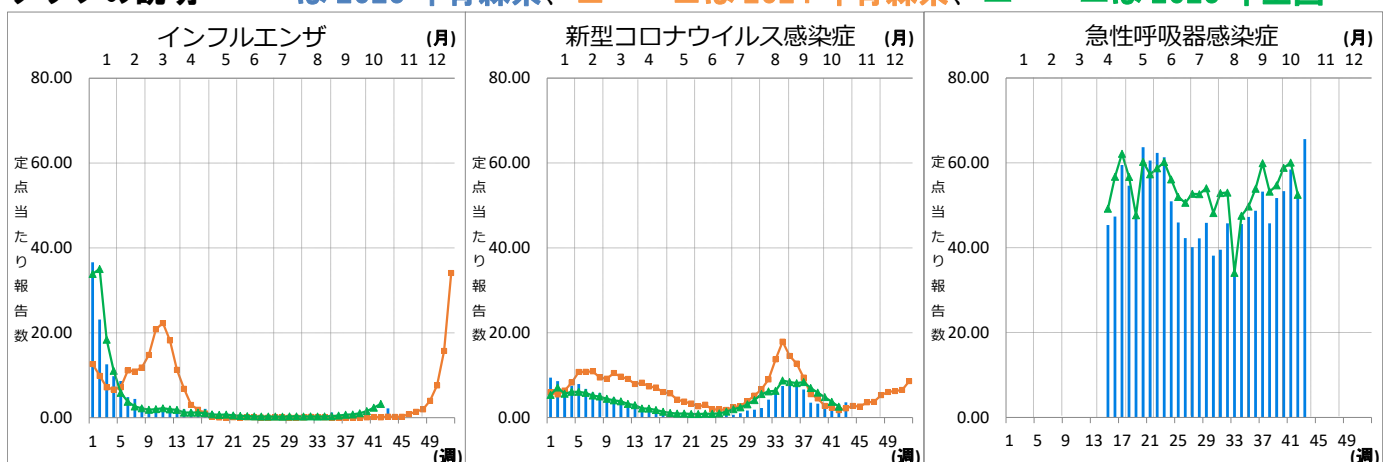
青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

		東青 (東津軽+ 青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸+ 八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青森県計		前週 からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ	19	1.73	27	2.70	14	1.40	9	1.50	42	4.67	3	0.50	114	2.19	71
	新型コロナウイルス感染症	40	3.64	59	5.90	32	3.20	14	2.33	31	3.44	11	1.83	187	3.60	21
	急性呼吸器感染症	1128	102.55	498	49.80	537	53.70	325	54.17	578	64.22	344	57.33	3410	65.58	684
小児科	RSウイルス感染症	1	0.17			5	0.71			4	0.67	4	1.00	14	0.41	5
	咽頭結膜熱					2	0.29							2	0.06	-1
	A群溶血性レンカ球菌咽頭炎	4	0.67	6	1.00	6	0.86	3	0.60	3	0.50	3	0.75	25	0.74	-6
	感染性胃腸炎	12	2.00	6	1.00	23	3.29	13	2.60	2	0.33			56	1.65	-7
	水痘	1	0.17			5	0.71	3	0.60			2	0.50	11	0.32	5
	手足口病	1	0.17											1	0.03	-3
	伝染性紅斑					3	0.43	1	0.20					4	0.12	0
	突発性発しん	3	0.50			1	0.14			2	0.33			6	0.18	-1
	ヘルパンギーナ	3	0.50	4	0.67	11	1.57							18	0.53	7
	流行性耳下腺炎			2	0.33	1	0.14							3	0.09	3
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															-1
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎			2	2.00	1	1.00	2	2.00			2	2.00	7	1.17	-1
	無菌性髄膜炎					1	1.00							1	0.17	1

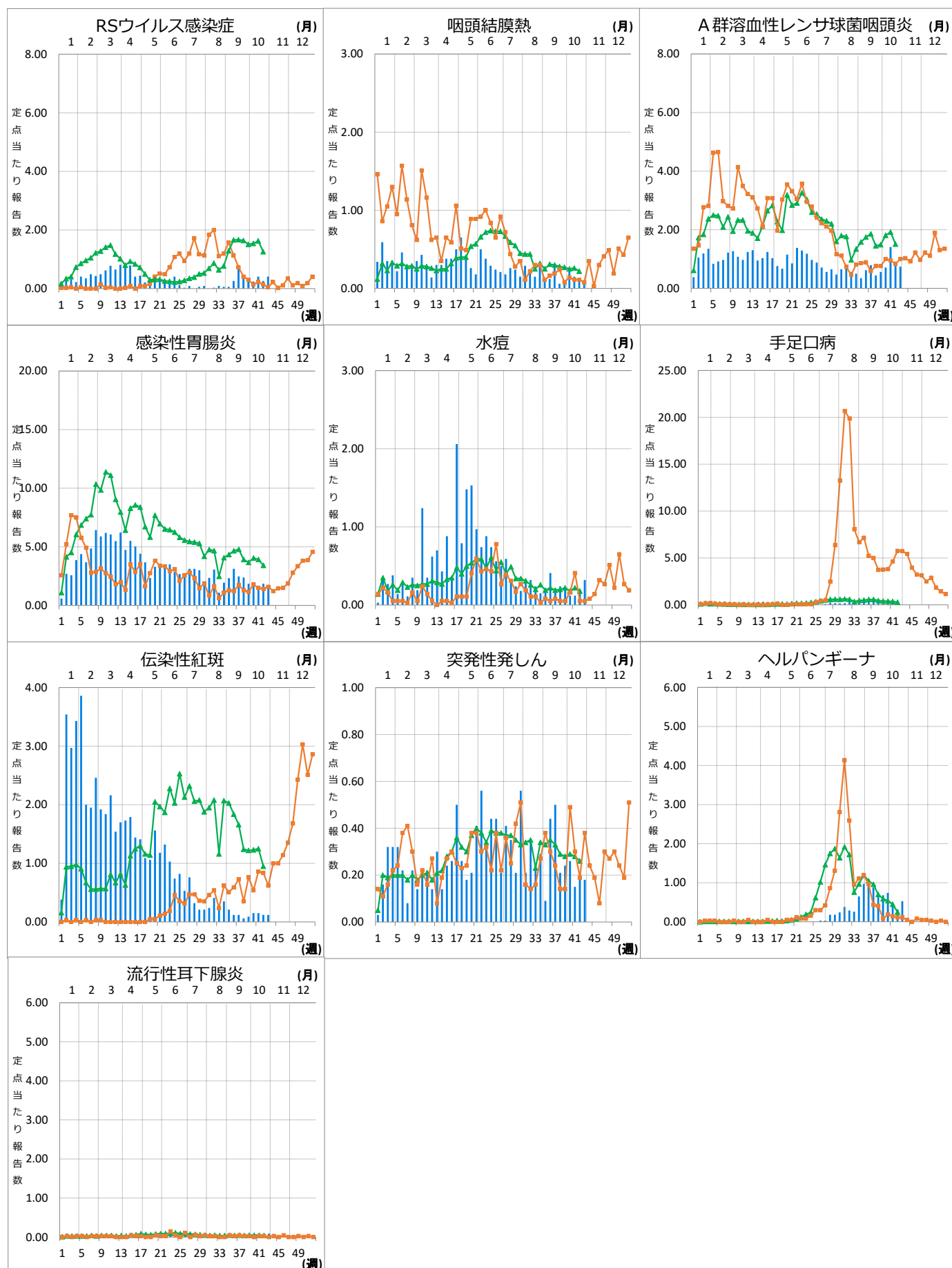
III 定点把握対象疾患週別推移 (急性呼吸器感染症定点) (2025 年第 43 週、ただし全国は前週)

グラフの説明 は 2025 年青森県、 は 2024 年青森県、 は 2025 年全国



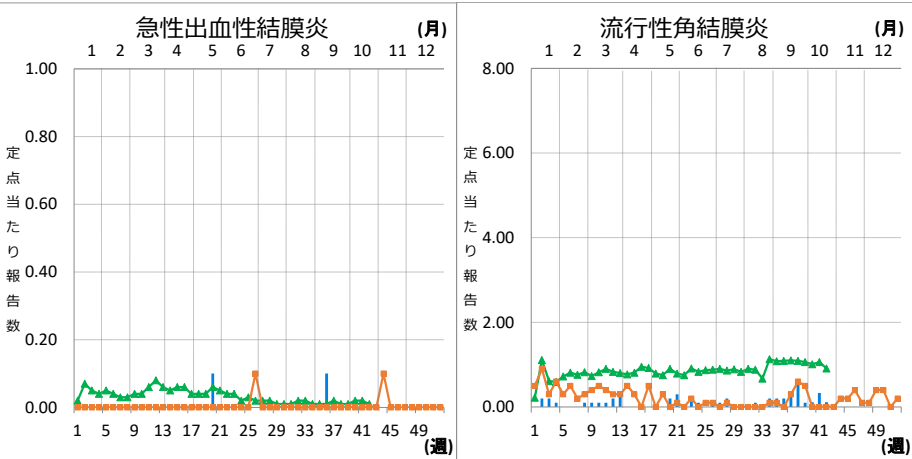
Ⅳ 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2025 年第 43 週、ただし全国は前週）

グラフの説明   は 2025 年青森県、 は 2024 年青森県、 は 2025 年全国



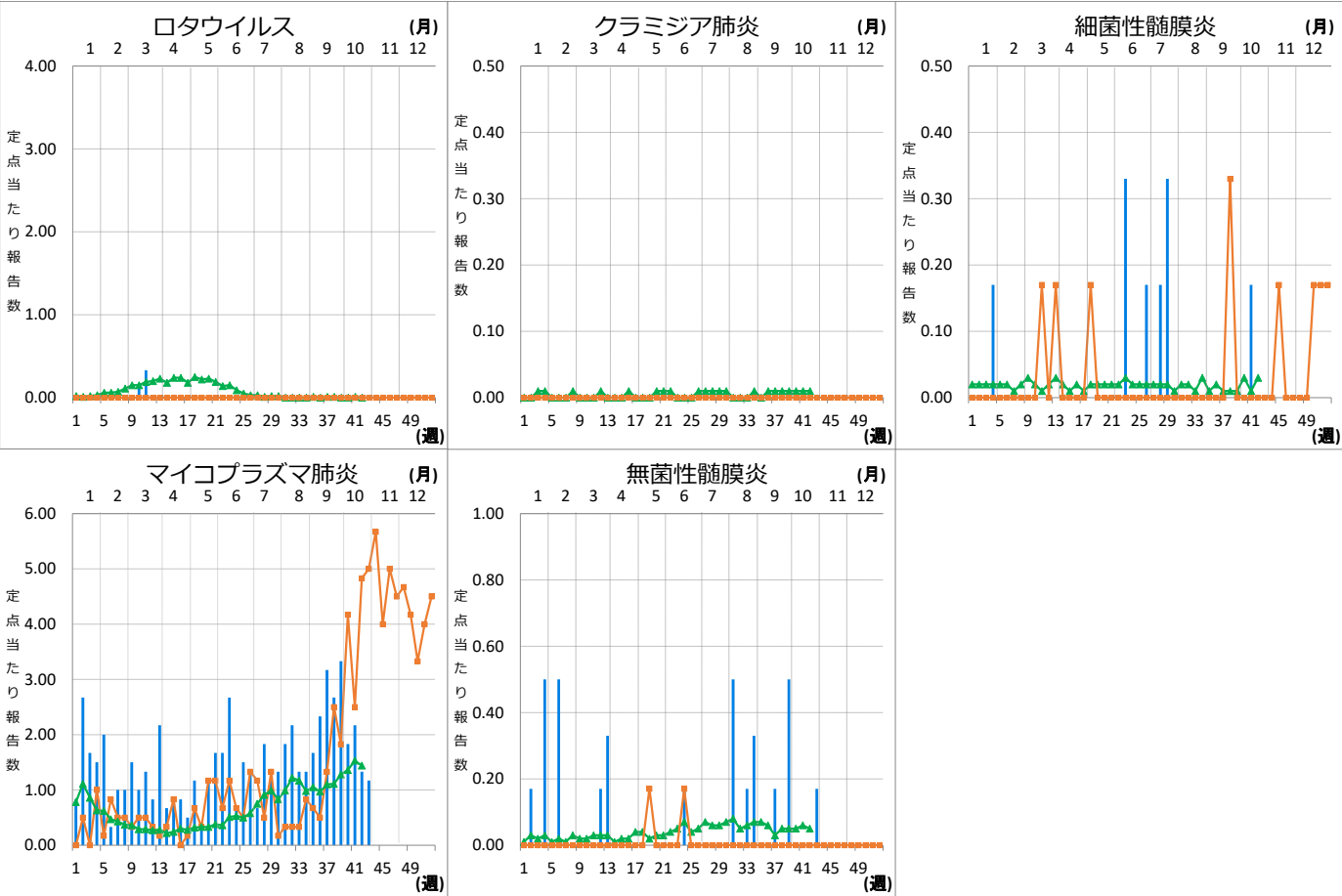
V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2025 年第 43 週、ただし全国は前週）

グラフの説明👉■は 2025 年青森県、■は 2024 年青森県、▲は 2025 年全国



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2025 年第 43 週、ただし全国は前週）

グラフの説明👉■は 2025 年青森県、■は 2024 年青森県、▲は 2025 年全国



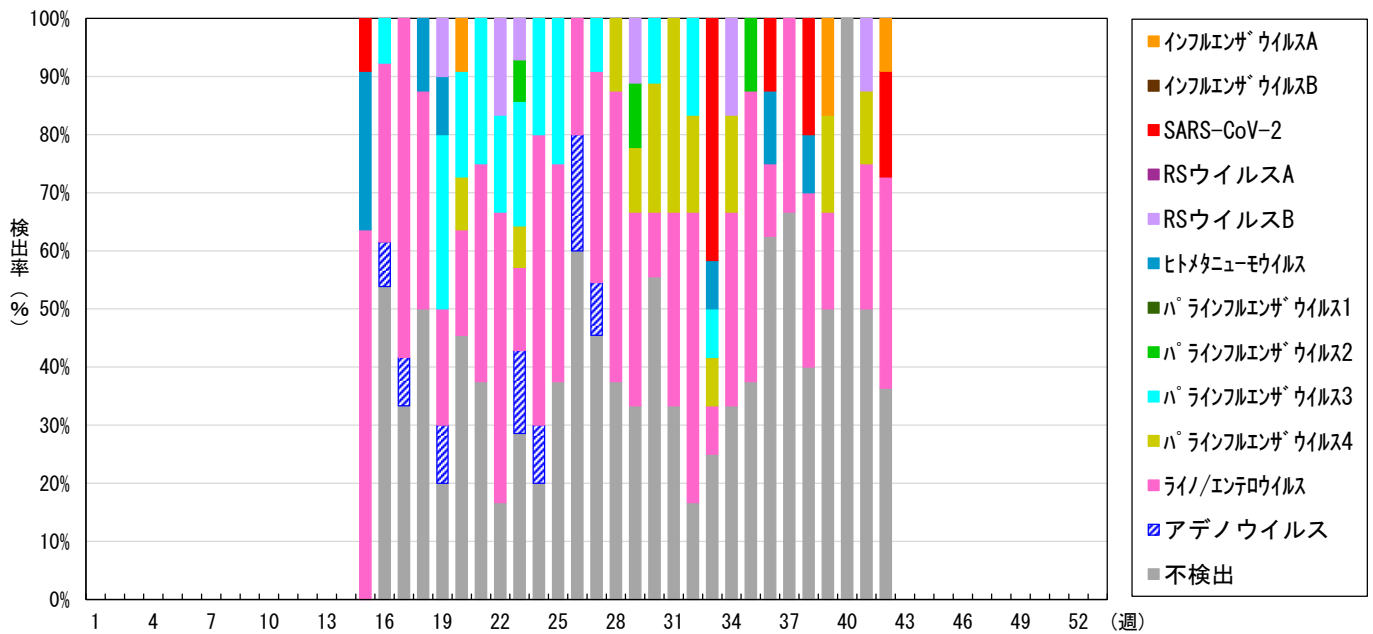
Ⅶ 急性呼吸器感染症 (ARI) 病原体検出情報

(1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分 (2025 年第 36～43 週)

急性呼吸器感染症	2025年							
	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週
提出検体数	7	9	10	6	6	8	11	9
インフルエンザウイルスA	0	0	0	1	0	0	1	
インフルエンザウイルスB	0	0	0	0	0	0	0	
SARS-CoV-2	1	0	2	0	0	0	2	
RSウイルスA	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルスB	0	0	0	0	0	1	0	
ヒトメタニューモウイルス	1	0	1	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス2	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス3	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス4	0	0	0	1	0	1	0	
ライノ/エンテロウイルス	1	3	3	1	0	2	4	
アデノウイルス	0	0	0	0	0	0	0	
不検出	5	6	4	3	6	4	4	
検査待ち	0	0	0	0	0	0	0	9

※第36週に提出された検体のうち、ライノ/エンテロウイルス及びSARS-CoV-2が重複して検出されたものが1検体ありました。

(2) 検出された病原体の週別推移 (2025 年第 15 週～)



Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（第 43 週）

- ・結核（二類感染症）：青森市 1 人（2025 年計： 97 人）
- ・百日咳（五類感染症）：八戸市 3 人、西北 1 人、上北 1 人（2025 年計： 738 人）

Ⅸ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2025 年第 40 週～2025 年第 43 週）

週	東青 （東津軽保健所+ 青森市保健所）	中南 （中南保健所）	三八 （三戸保健所+ 八戸市保健所）	西北 （西北保健所）	上北 （上北保健所）	下北 （下北保健所）
40	梅毒1人	結核1人 侵襲性インフルエンザ菌感染症1人 梅毒1人 百日咳1人	結核3人 腸管出血性大腸菌感染症1人 百日咳1人	百日咳2人		腸管出血性大腸菌感染症1人
41	結核2人 デング熱1人 クロイツフェルト・ヤコブ病1人 百日咳1人	腸管出血性大腸菌感染症1人 百日咳2人	結核2人 腸管出血性大腸菌感染症1人 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1人 百日咳2人	百日咳1人	結核2人 百日咳1人	
42	結核1人 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1人 後天性免疫不全症候群1人	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1人 百日咳2人	百日咳1人	腸管出血性大腸菌感染症1人 レジオネラ症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人 レジオネラ症1人	
43	結核1人		百日咳3人	百日咳1人	百日咳1人	

第 42 週に、青森市保健所管内で後天性免疫不全症候群の届出が 1 件ありましたので追加しました。

X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2025 年第 1 週～第 42 週までの累計）										
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムボックス
累積報告数	11376	3	46	3443	27	8	471	111	26	6
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎
累積報告数	9	6	6	174	2	19	109	139	560	1
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	ブルセラ症	ボツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症
累積報告数	1	1	19	16	1	1971	43	365	194	1003
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症
累積報告数	25	426	21	148	1138	684	31	550	68	2762
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症	
累積報告数	540	11242	138	79	68	82795	10	231		9

青森県（2025 年第 1 週～第 43 週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	97	36	1	15	1	1	9	1	9	1
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	百日咳		
累積報告数	4	5	2	4	14	19	1	738		

XI 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日
急性心筋炎疑い患者（鼻腔ぬぐい液、9/6）・・・サイトメガロウイルス：中南 1 人

XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2025 年第 43 週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第43週	報告なし		

2025 年報告件数及び症者数

施設種別		月(週)		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月				11月	12月	計
		1-5週	6-9週	10-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27-31週	32-35週	36-39週	40週	41週	42週	43週	44週	45-48週	49-52週	(施設別)	
介護・老人福祉関係施設	件数	1	4	4	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			14	
	発症者数	7	70	69	78	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0			235	
児童・婦人関係施設等	件数	4	10	8	7	1	3	1	1	0	0	0	0	0	0			35	
	発症者数	74	228	136	128	25	50	22	13	0	0	0	0	0	0			676	
障がい関係施設	件数	0	2	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0			7	
	発症者数	0	37	25	10	5	0	11	0	0	0	0	0	0	0			88	
その他施設	件数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0			1	
	発症者数	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0			10	
計(月別)	件数	5	16	14	12	3	4	2	1	0	0							57	
	発症者数	81	335	230	216	41	60	33	13	0	0							1009	

感染症の窓

11 月は「薬剤耐性対策推進月間」です。

薬剤耐性とは、特定の種類の抗菌薬や抗ウイルス薬等の抗微生物薬が効きにくくなる、または効かなくなることを行います。薬剤耐性を持った細菌やウイルスが増えると、従来の薬が効かなくなるため、これまでは感染・発症しても軽症で回復できた感染症の治療が難しくなり、重症化しやすくなったり、死に至る可能性が高まります。薬剤耐性に対してこのまま何も対策がとられないと、2050 年には全世界で薬剤耐性菌関連の死亡者は毎年 1,000 万人に上り、がんによる死亡者数を上回ると推計されています。

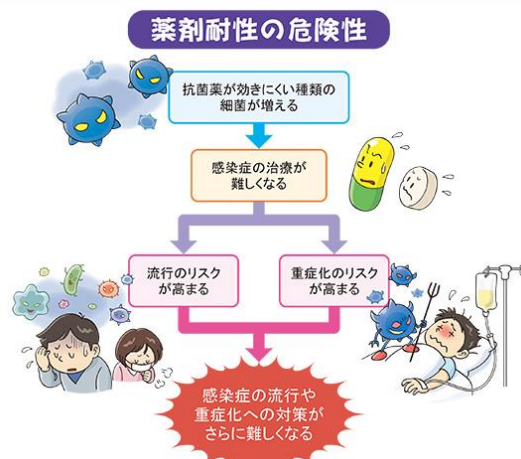
抗菌薬（抗生物質）は「細菌」に効く薬であり、風邪やインフルエンザの原因となる「ウイルス」には効きません。ウイルス感染による風邪の時にいくら抗菌薬を飲んでも、効果がないだけでなく、副作用による体調不良を起こす可能性があり、薬剤耐性菌発生のリスクが高まります。

薬剤耐性の拡大を防ぐには、感染症の予防と抗菌薬の適切な使用が重要です。日ごろから正しい手洗いを心がけ、手指消毒、マスクの着用などにより、感染症の予防に努めましょう。また、抗菌薬を服用する際は、医師や薬剤師の指示を守って、必要な場合に、適切な量を適切な期間、服用しましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。

☞ [抗菌薬が効かない「薬剤耐性（AMR）」が拡大！一人ひとりができることは？（政府広報オンライン）](#)

薬剤耐性（AMR）対策について



出典：政府広報オンライン（ホームページより抜粋）

